



Chitose Rotary Club

佐々木会長テーマ
“心ひとつに”

会長 佐々木 金治郎 副会長 大西 信也 幹事 佐藤 晴一
会長エレクト 今村 静男 会計 酒井 宏
第2510地区ガバナー 佐々木 正丞 第7グループ・ガバナー補佐 古川 大之

～ 11月はロータリー財団月間 ～

本日の例会 (11月18日 第21回) 夜間通常例会

担当: 会員増強委員会
～ANAクラウンプラザホテル千歳～

2010年～2011年度 第20回(通算2139回) 例会報告

日時: 2010年11月11日12:30～13:30
場所: ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム: ゲスト卓話
担当: ロータリー財団・米山記念奨学委員会
司会: SAA・プログラム副委員長 宮本 伸司

会長挨拶

会長 佐々木 金治郎



この11月も2回目の例会を迎えました。本当に早いものだなと思います。本日は、岩城パストガバナーがお見えになっておりまして、ロータリー財団に関する卓話をいただきます。お忙しいところ、本当にありがとうございます。私ごとですが、11月4日の丸駒例会、遠いところお越し下さいまして、会員の皆さま

に親睦を深めていただきました。ありがとうございます。また、当日は長澤健康委員長の提案によりまして約7km近くを歩きました。歩くということは良いことだと思いつくづきました。私は丸駒には60年以上住んでいますが、昔はよく歩いたなということを思い出しながら歩きました。本当に有意義な歩こう会になりました。また、夜の例会は、下山親睦委員長をはじめ、皆様にご苦労をいただきました。また、いろいろなことをやっていただきました酒井会員、ご苦労様でした。

この例会が終わって、11月14日から神戸南RCを訪問します。私を含めて15名の会員が14日と15日に出発することになっています。15日には神戸南RCの例会に出席をさせていただきます。温かい交流をしてきたいと思っています。

四つのテスト



クラブ会報・広報・
雑誌IC委員会
川端 清

お客様紹介



国際ロータリー第2510地区 ロータリー財団委員長
岩城 秀晴 パストガバナー 様

幹事 佐藤 晴一



前回の丸駒例会には多くの会員の参加をいただき、ありがとうございました。本日、ソロプチミストのチャリティーパーティーがホテル日航で開催されます。会長と私が出席してきます。また、奄美地方の豪雨災害義援金の依頼が来ております。出口のところに箱を置いておきますので、どうか皆さまの温かい義援金をお願いしたいと思います。来週、11月18日は夜間通常例会となっておりますので、お間違えのないようにして下さい。会場は、当ホテルです。また、当日はボジョレーヌーボの解禁日ということでもありますので、皆様から千円ほどの会費を頂戴します。会員拡大に関するいろいろな話をざっくばらんにしていただければと思いますので、多くの方の出席をお願いしたいと思います。

ロータリー情報

ロータリー情報・定款細則副委員長
岩崎 暉久



ただいま、佐々木会長から4日の丸駒温泉での夜間例会のお話がありました。健康委員会主催による歩こう会がありまして、本当に体に良いことだと思えます。

11月といういろいろな形で冬支度の時期で、雪が降ったりやんだりして目まぐるしい時期だと思えます。世相を見ますと、ロシアのメドベージェフ大統領が国後を訪問して、日本の政府も大変苦慮しています。また、中国との間では尖閣諸島の漁船衝突事件のビデオの流出ということがありました。国際間でいろいろ解決しなくてはいけない問題が多くあります。昨日、テレビで衆議院の予算委員会の模様を見てみますと、その件について政府を追及している場面がありました。菅直人総理大臣も大変苦悩に満ちた答弁をしていました。また、横浜ではAPECの首脳会議が始まります。日本全国から集まった警察官が警備に当たるということです。そこでもロシアの大統領、中国の国家主席との話し合いがあるそうですが、どういう話が展開されるのか、見守るべきではないかと思っています。

皆さんご存じのとおり、千歳ロータリークラブは今年43年目を迎えました。千歳ロータリークラブが発足した時は、西洋軒が例会場になって、30名くらいの人員で発足し、札幌RCの秋山さんという方がスポンサーとなって設立されました。クラブが発足する

と、認証書伝達式というのがあります。その当時は、今の市民文化センターやこのような大きなホテルが無かった時代です。どこを伝達式の会場にしたかというと、千歳小学校の体育館で行いました。式典の後は懇親会ということで華々しく行って千歳ロータリークラブが誕生したということです。市議会の元議長であった吉田信一さんが初代の会長として産声を上げました。18日に会員増強フォーラムがありますが、当ても会員を増やさなくてはならないということで、当時のクラブの方たちは、一生懸命いろいろな人を勧誘し、入ってもらいました。住職もいましたし、郵便局長さんですとか、ありとあらゆる職業の方に入ってもらいました。金融機関の方も徐々に入りまして、4行くらいの金融機関の方も入りました。バーの経営者の方もロータリーに入るなど、本当に和気あいあいと皆手をつないで、ロータリーの発展に尽くされたということを記憶しています。

当時は、いろいろなイベント、行事がありました。千歳川の清掃ということで、JCが主体になって千歳川のゴミを拾ったのですが、その時にロータリークラブも参加しました。川掃除ですので、当然昼間に行ったのですが、清流を守るために1時間くらい汗を流しました。私はその時はロータリーの会員ではなくて、うちの先代が入っていたのですが、例会場ではその後の直会ということで和気あいあいとやっていました。本当に、いろいろな職業の方が入れ、ロータリーの発展に尽くされたということが、思いだされます。120名の会員がおられたということもありましたので、これを機会に1人でも、2人でも会員を増やして、充実したロータリークラブになることをお願いして、ロータリー情報とさせていただきます。

外部講師卓話「ロータリー財団月間にあたって」

ロータリー財団・米山記念奨学副委員長
藤本 敏廣



本日の例会はロータリー財団・米山奨学委員会担当の例会ですので、地区ロータリー財団委員長の岩城秀春さんをお招きしまして、卓話を頂こうと思います。岩城委員長様は1976年に札幌南RCに入会以来、地区委員、札幌南RC会長、地区米山奨学委員会委員長を務められ、2001-2002年度に第2510地区のガバナーに就任されました。2007年から地区財団委員長の要職に就かれています。本日は大変お忙しいところを、当クラブにお越しいただき、まことにありがとうございます。岩城委員長様におかれましては、ロータリー財団の意義と近況を報告していただき、我々もさらに認識を深めて、当クラブの目標達成に邁進していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

ちなみに、当クラブは「あなたも100ドル」をスローガンに、財団5000ドル、ポリオプラス1000ドルをクラブ目標において取り組んでいるところですが、まだ達成はしておりません。あらためまして、会員各位にご協力をお願いします。それでは、岩城委員長様、よろしくをお願いします。

国際ロータリー第2510地区ロータリー財団委員長
岩城 秀春 パストガバナー 様



ただ今、藤本委員長様にご紹介いただきました、札幌南クラブに所属しております、2001年から2002年のガバナーをいたしました岩城でございます。現在、財団委員長は3年ということが1つのルールというかしきりになっていて、本来であれば去年で終わりということなのです。その時ガバナーから、今財団が移行期にあって、何か非常に分かりにくいというお話がありまして、もう1年やってくれないかということになりました。やった結果、足入れしてしまっただけで、また3年間やらなくては行けない羽目になりました。知っていながら断り切れない人の良さとか、これも皆さんのためであればということもあります。

財団というのは皆さんも承知だと思いますが、1917年にアーチ・クランプさんという方がいて、アトランタの国際大会においてロータリアンも世界に良い事をしようではないかと提唱されたのが切り口です。そして、1928年の国際大会においてロータリー財団として名付けられました。1928年ですから、皆さんにとっては歴史上のお話だと思いますが、1931年に信託組織となって、1983年にイリノイ州の法律によって非営利財団法人となったわけです。

ロータリー財団というのは、理念的なもの哲学的なものも含めて考えないと、ただ機械的にお金を出すんだというものではありません。このロータリー財団月

間を機会に理念的なものを考えてみたいと思います。

私たちのロータリーは、職業奉仕をするということで寄り集まって、ポールハリスが仲間に入ってもらったのが1904年です。その時にやはり職業奉仕をするということだけで良いというものではなく、社会に貢献するということになりました。しかし、社会に貢献するために何をしたら良いのかということで、1つの壁もできました。アーチ・クランプさんは、やはり世界のために良く奉仕しようという考え方でした。今、日本ではポリオは撲滅されましたが、全世界の中ではポリオにより、大変な苦勞をされている方もいらっしゃいます。やはり、財団はポリオを撲滅しようというのが一番の動機です。インドあたりを見てみますと、川で顔を洗ったり水を飲んだりしている上の方では排泄が行われているというような、ポリオが出てこないわけがないという社会環境です。そのようなことで考えますと、世界のために良い事をしようということが発想です。それに対し、日本の特殊な米山奨学会がありますが、あれは留学生に対する寄付です。しかし、財団は奨学生ばかりではなく、世界をより良いものにしようという発想です。身近なことを考えますと、米山の方が早いよなという声も聞こえますが、財団はグローバルな考えですので、その辺の所を間違いないように理解をしていただきたいと思います。米山では身近な留学生、中国や韓国からの留学生に奨学金を差し上げていてよろしいのですが、財団というのは一歩進んだもう少し大きな考えのもとに奉仕しようという考え方ですので、どうぞ皆様方のご理解をいただきたいと思います。

それから、地区としてはやはり財団へ1人100ドルを寄付していただきたいという考えです。また、ポリオへの2億ドルのチャリティーをするというのがありますので、1クラブ1000ドルの寄付を行っていただくということです。この寄付の問題につきましては、73クラブのうち千歳クラブは4位に位置してまして、7436ドルの寄付を頂いています。ポリオについても、1025ドル、年次寄付につきましても6411ドル、1人当たり112ドルです。なお一層のご協力をいただきたいと思います。

どういう基金があるかといいますと、恒久基金と用途指定の基金があります。大口寄付については1万ドルですので、今では82万円ほどです。また、ポールハリス・ソサエティーにつきましては、毎年1000ドル以上の寄付をするとソサエティーということになります。また、ロータリーカードにつきましてもお持ちであると思いますが、オリコのカードです。

また、3、4年前に運用資金としてサブプライムローンに手を出したのですが、損失があつて、その金額が4400万ドルとなり、非常に多額の損失が発生しました。実際にはそれは、損をした訳ではなくて評価損です。評価損で4400万ドルを損したということになっているのですが、その点を非常に深く反省して、これからは単一的な投資運用をするのではなくて、多角的に専門家と相談しながら運用しようということになっています。

各クラブに積極的にプログラムに参加してもらおうということも大事です。教育的なプログラムには国際奨学金というのがあります。また、GSEというのもありまして、スウェーデンのロータリー協力しながら行っています。また前年はマレーシアからの研修生が来たのですが、それもやはり財団のプログラムです。また、人道的なプログラムというのがあり、地区ごとにおこなっています。皆さんが、ここの市に何か奉仕をするために財団としてやろうという場合に、地区ごとに申請しますと、20万円、あるいは30万円という金額がロータリー財団からきます。どうか、このようなプログラムに積極的に参加して頂きたいと思えます。

今までは、教育的なプログラムを多くやってきたのですが、人道的なプランもしようということになっています。今年度の会長テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」とあるように、ロータリー財団ももう少し地域を活性化させようということで、もう少し人道的なプランにウェイトを置くということになります。2013年から未来の夢計画に移行しようとしているのですが、地域的なプログラムに使っていきこうということです。先ほど、世界のためということを申し上げましたが、やはり身近な所を考えて補助金を出そうということです。

2009-2010年度の実績を申しますと、年次寄付は27万3085ドル、1人当たり約101ドルとなっています。一方、1クラブで1000ドルの目標でしたが、40クラブが達成し31クラブが未達成でした。いやな話ですが、全然寄付しなかったクラブが3クラブありました。1番は札幌RC、2番は札幌東RC、3番目は書いていないのですが札幌南RCです。また、1人当たりの高額クラブは苫小牧北RCで296ドルでした。

未来の夢の計画ですが、財団の使命に沿ってプログラムを簡素化する、世界の主要なニーズに取り組むことにより最大の成果が期待されるもの考えたこと、ロータリアンの奉仕活動に焦点を絞る、世界の目標と地元の目標を果たすためのプログラムを提供する、意思決定をさらに地区に移行することにより、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるとの自覚を持つ、というくり方になっています。ただし、私たちのところには手続き的なものはまだ来ていません。11月24日にセミナーがありますので、その際に触れられるのかと思います。

皆さんには、財団に対するご理解とご協力をいただきたいと思えます。1人100ドル、8200円程度出していれば奉仕活動ができますので、財団に一層のご協力をお願いします。

会長 佐々木 金治郎



岩城パストガバナーから、懇切丁寧な卓話をいただきまして、大変ご苦勞されていることが分かり、私たちのクラブとしてもご協力していかなければいけないと思えます。岩城パストガバナーのお話を、当クラブの会員の皆様をご理解いただき、私たちの財団委員長の面目が立つようにご協力のほどをお願いします。

出席率

今回：70.7%（11月11日＝41/58、実数）
確定：75.9%（10月28日＝44/58、うちメーキャップ 0名）

ニコニコBOX

佐々木 金治郎 会長

11月4日、千歳市内から36km離れた丸駒での移動例会、まことにありがとうございます。

佐藤 晴一 幹事

丸駒例会、多くの出席ありがとうございます。

下山 徹哉 会員

先週の丸駒夜間例会でおいしい食事を頂き、ごちそう様でした。心残りは、温泉に入れず残念でした。

健康委員会

長澤 邦雄 委員長、中村 堅次 副委員長、浅沼 廣幸 委員、中山 和朗 委員

丸駒夜間例会便乗の支笏湖畔歩こう会に14名の参加をいただきました。全員完歩、道すがらの清掃、千歳民報掲載ありがとうございます。

本宮 輝久 会員

先週の丸駒夜間例会で勝ち取ったジャンケン勝ち抜き賞金の半額を上納します。沼田会員、ありがとうございました。

川端 清 会員

妻にお花、ありがとうございます。

宮本 伸司 会員

昨年、市民文化センターの調理室にガスコンロを寄贈したことに対し、11月4日千歳市善行表彰をいただきました。

五十嵐 桂一 会員

久しぶりに昼間の例会に出席します。ごぶさたします。

謝辞

本日のニコニコ集計 11名 19,000円